



青山シンフォニー オーケストラ

第30回
定期演奏会

創立30周年記念

Beethoven
Symphony
No. 9

ベートーヴェン 交響曲 第九番

ニ短調 作品125
「合唱付き」

- 指揮：汐澤 安彦 ●合唱指揮：船橋 洋介
●ソリスト：[ソプラノ] 稲見 里恵 [アルト] 牧野 真由美
[テノール] 高橋 淳 [バリトン] 清水 良一
●管弦楽：青山シンフォニーオーケストラ
●合唱：青山シンフォニー第九合唱団

「歓喜の歌」を皆様と共に。



●会場：東京芸術劇場コンサートホール

●日時：2017.4.16 (日) 14:30開演 (13:30開場)

●チケット：S/2,000円 A/1,500円 B/1,000円
高校生割引=B/800円

●チケット販売：東京芸術劇場ボックスオフィス(1階アトリウム内のインフォメーション)

●電話申込み：0570-010-296
(休館日を除く10:00~19:00)

●インターネット：(PC) <http://www.geigeki.jp/t/>
申込み (携帯) <http://www.geigeki.jp/i/t/>

●お問合せ：石田 啓子 ●電話：045-713-3478 ●メール：webmaster@aoyama-symphony.com
●ホームページ：<http://www.aoyama-symphony.com>

当団は1988年に創立記念演奏会(第1回定期演奏会)を開催しました。1986年頃から青山学院管弦楽団OBの有志が集まって演奏を楽しんでいましたが、1987年、指揮者に汐澤安彦先生をお迎えして本格的な演奏活動を開始し、市民オーケストラとして現在に至っています。この30年で記憶に残る演奏会は、2011年3月11日・東日本大震災が発生した年の第24回定期演奏会です。3月21日の演奏会(会場・東京芸術劇場大ホール)を取り止めたが、多くの方々のご協力と団員の結団のお蔭で6月12日に青山学院講堂で延期演奏会として開催出来ました。翌年の創立25周年記念第25回定期演奏会は、予定のミュゼ川崎が地震の影響で使えぬ為、急遽、会場を日比谷公会堂に変更して開催し、歴史ある建物での思い出深い演奏会として心に残っています。団員一同、今後も継続した活動を目指して精進しますのでどうぞ宜しくお願いを申し上げます。

指揮者

汐澤 安彦 -しおざわ やすひこ-

東京芸術大学器楽科卒業、同専攻科修了。トロンボーンを山本正人、指揮を金子登の各氏に師事。当初、バストロンボーン奏者として読売日本交響楽団に在団、傍ら桐朋学園において斎藤秀雄氏より指揮法を学ぶ。1973年、民音指揮コンクール(現・東京国際音楽コンクール指揮部門)第2位。1975年、渡欧。ベルリン音楽大学、カラヤンアカデミーに学ぶ。帰国後、オーケストラ、吹奏楽、オペラ、合唱の各界で活躍。これまで、東京佼成ウインドオーケストラ、二期会合唱団、東京吹奏楽団など、各常任指揮者を歴任。また、東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル指揮者として永年、その任にあった。1999年、日本吹奏楽学会／第9回日本吹奏楽アカデミー賞(演奏部門)受賞。東京吹奏楽団名誉指揮者。東京音楽大学名誉教授。青山シンフォニーオーケストラ常任指揮者。

合唱指揮者

船橋 洋介 -ふなばし ようすけ-

東京音楽大学ピアノ科卒業。同大学指揮研究科修了。「プラハの春」をはじめ数々の国際コンクールで入賞。特に声楽・合唱付き作品で深い洞察力を発揮し、数多くのステージやオペラ制作に携わる。都響、東京フィル、東響、大阪フィル等への客演を始め、音楽鑑賞教室のプロデュース等、国内外で精力的な活動を展開し、ますますの活躍が期待されている。宮城学院女子大学特任准教授。

ソリスト

ソプラノ

稲見 里恵 -いなみ りえ-

国立音楽大学声楽科卒業。二期会オペラスタジオ修了。砂川稔師事。オペラ「智恵子抄」智恵子役では、その演技と歌唱が注目を浴びる。(財)土屋文化振興財団の助成を受け歌曲集「智恵子抄」(清水脩)を演奏。「NTTときめきコンサート」、「ユネスコ音楽祭」他ドイツの会においてのシューマンの歌曲、「ウィーンの風コンサート」ではJ.シュトラウスのアリアなどで称賛を受けた。宗教曲のソリストとして、バッハ「ロ短調」、ヘンデル「メサイア」、フォーレ「レクイエム」、ブラームス「レクイエム」、ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」(「レクイエム」)他、また第九のソリストなど多くのレパートリーを持つ。2011年モーツァルト「魔笛」パミーナ、2012年「ラ・ボエーム」ミミ役では観客を魅了し翌年再演。2014年ブッチェニ「蝶々夫人」バタフライ役では多くの人の涙を誘った。読売・日本テレビ文化センター講師・二期会会員。

テノール

高橋 淳 -たかはし じゅん-

東京音楽大学卒業、同大学院修了。'95年ザルツブルク・モーツァルトフェスティバルアカデミー修了。二期会オペラスタジオ第43期マスタークラス修了(優秀賞受賞)。オペラでは新国立劇場、二期会をはじめ国内の多数の公演。またブッチェニ「フェスティバル(イタリア)」他海外の公演においても、豊かな声量と存在感のある演技で、舞台に欠かせないテノールとして公演の成功に大きく貢献している。特に近現代作品での活躍はめざましく、その多くは日本初演、もしくは世界初演である。コンサートでは、国内外の著名指揮者の下、ベートーヴェン「第九」をはじめ幅広いレパートリーを歌っている。'06年8月には、ザルツブルク音楽祭にて、ヘンツェ「午後の曳航」(演奏会形式)の登役を歌い大成功を収めた。さらにはオルフ「カルミナ・ブラーナ」のスペシャリストとして出演を重ねており、演奏のいくつかはテレビ放映やCD化されている。二期会会員、日本演奏連盟会員、東京音楽大学講師、埼玉県立大宮光陵高校音楽科講師。

アルト

牧野 真由美 -まきの まゆみ-

東京芸術大学卒業、同大学大学院修了。第3回藤沢オペラコンクール奨励賞受賞。第30回イタリア声楽コンクール金賞受賞。立川市民オペラ「カルメン」タイトルロール、サントリール・オペラ「フィガロの結婚」マルチェリーナ、東京のオペラの森「オテロ」エミリア等に出演。藤原歌劇団には2010年「カルメル会修道女の対話」マザー・マリーで本公演デビュー後、2011年「ルチア」アリーサ、「セビリアの理髪師」ベルタ、2012年「フィガロの結婚」マルチェリーナ、「夢遊病の女」テレザ、2013年「仮面舞踏会」ウルリカ、2014年「オリエント」ラゴンド、「蝶々夫人」スズキ、2015年「ファルスタッフ」クイックリーと連続出演し、安定した存在感で好評を博している。また、モーツァルトやヴェルディの「レクイエム」をはじめ「メサイア」「第九」等コンサートでも活躍している。長野県立小諸高校音楽科、フェリス学院大学音楽学部非常勤講師。藤原歌劇団団員。

バリトン

清水 良一 -しみず りょういち-

武蔵野音楽大学大学院修了。第66回日本音楽コンクール第2位、第10回音楽堂日本歌曲コンクール第1位受賞。2000年には文化庁芸術家在外研修員としてイタリアのフィレンツェにてフェドーラ・バルビエーリ女史のもと1年間の研修を行う。またこの間に「ヴェルディ没後100年、オーケストラレジーナ特別演奏会」などのコンサートに出演。オペラでは新国立劇場、藤原歌劇団、日本オペラ協会、藤沢市民オペラほか様々なプロダクションに出演し「椿姫」ジェルモン、「道化師」トニオ、「トスカ」スカルピア、「夕鶴」運づ、「天守物語」朱の盤坊、「春琴抄」佐助 ほか数多くのオペラに出演。コンサートでは演連コンサート156「清水良一バリトンリサイタル」、NHKFMリサイタルなどのコンサートや「第九」「メサイア」、フォーレの「レクイエム」などの交響曲、宗教曲のソリストとして様々な演奏会に出演。藤原歌劇団団員。